

## 事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	9 快適で安全・安心な暮らしをつくる	事業群主管所属	教育庁総務課
施策名	(1) しまや過疎地域等の活性化と持続可能な社会の基盤づくり	課(室)長名	田淵 和也
事業群名	④ しまや過疎地域の教育の活性化に向けて、地域と協働した県立学校の魅力化	事業群関係課(室)	高校教育課

### 1. 計画等概要

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】				
《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》				
少子化等により規模が小さくなったしまや過疎地域の高等学校については、学校の機能と教育水準の維持を図りながら、地域と協働して魅力ある学校づくりに取り組みます。				

事業群指標	最終目標 (H28~H32)	基準値 (H26)	実績 (H27)	達成率	【進捗状況の分析】
しまや過疎地域の地元地域と協働した取組の実施件数(累計)	6件	0	-	-	しまの県立高校においては生徒減少が続いており、地方創生の観点から地方自治体等と連携・協働して、高校の魅力化を進める必要がある。そこで、平成28年度から3年間の事業として、離島地区小規模校の魅力化「アイランド・チャレンジ」事業を立ち上げ、しまの1学年2学級以下の高校7校を対象に、地元市町、地域住民等で構成する「魅力化推進協議会」を設置して、具体的な事業計画の検討を進めている。
事業群の進捗状況					

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】	
《取組項目及び現状と課題》	
<p>i) 離島留学等を活用した魅力ある学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>五島高校、対馬高校及び壱岐高校で実施している離島留学制度については、対馬高校への専任職員の配置や宿泊体験の実施などの取組成果により、平成28年度の入学者数は、前年比23名増の53名と増加傾向となっているが、まだ定員の60名を満たしていない。</li> <li>今後も入学者を継続的に確保していくため、生徒が安心して過ごすことができる環境面の充実と、1人でも多くの生徒に受験してもらうための広報活動の充実が課題である。</li> </ul>	
<p>ii) 離島部の県立高等学校の魅力化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本県中学校卒業生数は、今後5年間で約1,500名の減少が見込まれている。高校も小規模化しており、現在、3学級以下の高校が22校で、県全体(54校)の4割を占めている。特に、しまや半島部の高校については、定員の不充足が続いている状況である。このまま、学級減を続けると、1学年1学級規模の学校が増加し続け、しまや半島部での教育水準の維持にも大きな影響を及ぼすこととなる。</li> <li>このような課題に対応するため、小規模校であってもできるだけ維持する方向で検討を行うとの基本方針のもと、平成28年度から離島地区小規模校の魅力化に向けて「アイランドチャレンジ」事業を立ち上げ、地元自治体や地域住民の代表者等で組織する魅力化推進協議会を設置し、検討を進めているところである。</li> </ul>	

### 2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業対象	事業概要 事業内容 (事業の実施状況)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				事業の成果等	中核事業	
			H27実績	一般財源	人件費(参考)			指標	主な目標	H27目標	H27実績			達成率
取組項目 i	高校生の離島留学推進事業	H13~	28,587	28,587	6,848	中学生 高校生	離島留学制度を広く周知するため、広報活動を行うとともに、島外の中学生・保護者に交通費・宿泊費を支給して宿泊体験を実施した。また、海外での語学研修等実施校の教育内容を充実させるための取組を行った。	活動指標	他県教育委員会への訪問回数+説明会での説明回数	50	50	100%	県内・県外での実施校説明会、県外教育委員会訪問、宿泊体験等の実施により、留学者数が平成26年度の30名から大幅に増加した。	○
	高校教育課		35,585	33,744	6,452			成果指標	離島留学制度による留学者数(入学者選抜における合格者数)	60	53	88%		
取組項目 ii	離島地区小規模校の魅力化「アイランド・チャレンジ」事業	(H28新規) H28-30	-	-	-	高校7校	1学年2学級以下の離島の小規模校を対象に、学校と地域住民等で構成する「推進協議会」を設置し、推進協議会において地元高校の魅力化事業推進計画を策定する。その策定した事業推進計画については、県教育委員会に設置する「事業検討委員会」で指導・助言、審査を行い、認定した事業について、地元市町と県教育委員会が協働して取り組んでいく。	活動指標	魅力化推進協議会開催回数	-	-	-	-	○
	総務課		1,157	579	8,872			成果指標	各地区に設置された魅力化推進協議会から事業検討委員会へ提出された事業推進計画書の件数	21	-	-		

### 3. 検証及び問題点の抽出

#### 【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

##### i) 離島留学等を活用した魅力ある学校づくりの推進

各実施校の教育活動の充実、県内外での積極的な広報活動等によって、離島留学生数の数は増加傾向にあるが、依然として定員不充足の状況にある。こうした中、平成27年度より新たに実施した中学生及びその保護者を対象とした宿泊体験により、参加した20組中19組が留学生として入学するなど高い効果を得ることができた。また、里親制度を設けている対馬高校に配置した専任職員が、留学生の生活面や地域との連携をサポートしており、島外からの入学者が増加（H26年度：6名→H27年度：16名）した要因の一つになっている。今後は、壱岐高校においても専任職員を配置することで、島外からの入学者増加につなげていきたいと考えている。

さらに、平成28年度から広報専任コーディネーターを配置し、時期に応じた広報媒体の作成・工夫をすることによって5月中旬から6月までの広報実績が前年度比の33%増となっている。

##### ii) 離島部の県立学校の魅力化の推進

事業の対象となる全7地区において、7月までに学校と地域住民等を構成員とする「魅力化推進協議会」を延べ12回開催している。その中で、五島南高校と奈留高校については、魅力化推進事業計画(案)がまとまり、その後2回の事業検討委員を開催して指導・助言を受け、具体的な検討を行ったところである。今後は、平成30年度からの生徒募集に向け、地元自治体や地域と連携し、島外からの生徒の受け入れ態勢を整備する必要がある。

また、五島南高校と奈留高校以外の地区については、早期の魅力化事業計画案の策定に向け、引き続き、地元市町等と協議・検討を行っていく。



### 4. 29年度実施に向けた方向性

#### 【問題点解決に向けた方向性】

i) 離島留学等を活用した魅力ある学校づくりの推進  
上記の検証及び問題点をふまえ、定員の充足を図るため以下の点を行う。

- ・宿泊体験の参加者の拡充
- ・壱岐高校への専任職員の配置
- ・広報専任コーディネータの継続配置

##### ii) 離島部の県立学校の魅力化の推進

事業計画が策定された地区については、計画の実現に向け取り組んでいく。それ以外の地区については、両校に続く計画案の策定に向けて検討を進める。

#### 【個別事務事業の見直し】

	個別事務事業の見直し		見直しの方向	見直し区分
	事務事業名	事業構築の視点		
<p>i) 離島留学等を活用した魅力ある学校づくりの推進 上記の検証及び問題点をふまえ、定員の充足を図るため以下の点を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊体験の参加者の拡充</li> <li>・壱岐高校への専任職員の配置</li> <li>・広報専任コーディネータの継続配置</li> </ul>	<p>高校生の離島留学推進事業</p>	<p>②③</p>	<p>平成28年度においては、従来の離島留学制度の取組を行いながら、宿泊体験の実施や新たに広報専任コーディネーターを配置し、広報活動を積極的に行っていく。 平成29年度においても、宿泊体験の充実や広報専任コーディネーターの継続配置を行うとともに、壱岐高校への専任職員の配置を検討する。また、離島留学生が安心して生活できるような受入体制を整備するため、国への要望活動等を継続して行っていく。 また、五島南高校及び奈留高校において、離島地区小規模校の魅力化「アイランド・チャレンジ」事業に係る計画案の実現に向けて組織・体制づくりを進めるとともに、島外からの生徒募集のための広報など、必要な取組を実施していく。</p>	<p>拡充</p>
<p>ii) 離島部の県立学校の魅力化の推進 事業計画が策定された地区については、計画の実現に向け取り組んでいく。それ以外の地区については、両校に続く計画案の策定に向けて検討を進める。</p>	<p>離島地区小規模校の魅力化「アイランド・チャレンジ」事業</p>	<p>—</p>	<p>平成28年度は、しまの1学年2学級以下の高校7校を対象に、地元市町、地域住民等で構成する「魅力化推進協議会」を設置して、具体的な事業計画の検討を進めている。 平成29年度は、魅力化推進事業計画(案)が策定された五島南高校及び奈留高校について、「高校生の離島留学推進事業」の中で、計画案の実現に向け組織・体制づくりを進めるとともに、島外からの生徒募集のための広報など、必要な取組を実施していく。 また、上記以外の地区については、計画案の策定に向け、引き続き地元市町等との協議を継続していく。</p>	<p>現状維持</p>